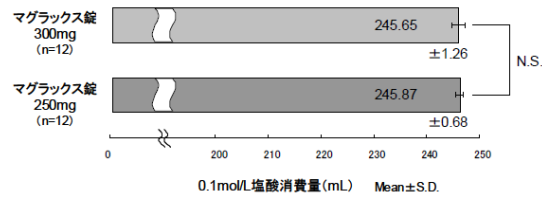


製品別比較表(標準品との比較)

| | 後発品 | 標準品 | | |
|-------------------------|--|--|--|--------------------|
| 商品名 | マグラックス錠 300mg | 一般名：酸化マグネシウム (250mg 錠剤) | | |
| 販売会社名 | 吉田製薬株式会社 | 吉田製薬株式会社 | | |
| 規格「一般名」 | 1錠中日局酸化マグネシウム 300mg 含有 | 1錠中日局酸化マグネシウム 250mg 含有 | | |
| 薬効分類 | 制酸・緩下剤 | | | |
| 薬 価 | 5.70 円/錠 | 5.70 円/錠 | | |
| 効能・効果 | 下記疾患における制酸作用と症状の改善 胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む） 便秘症 尿路尿酸カルシウム結石の発生予防 【標準品と同じ】 | | | |
| 用法・用量 | 制酸剤として使用する場合 酸化マグネシウムとして、通常成人1日0.5～1.0gを数回に分割経口投与する。 緩下剤として使用する場合 酸化マグネシウムとして、通常成人1日2gを食前又は食後の3回に分割経口投与するか、又は就寝前に1回投与する。 尿路尿酸カルシウム結石の発生予防に使用する場合 酸化マグネシウムとして、通常成人1日0.2～0.6gを多量の水とともに経口投与する。 なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。 【標準品と同じ】 | | | |
| 添加物 | カルメロースカルシウム、クロスボビドン、ステアリン酸カルシウム、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース | カルメロースカルシウム、クロスボビドン、ステアリン酸カルシウム、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース | | |
| 規制区分 貯 法 | 普通薬 室温保存 3年 | 普通薬 室温保存 3年 | | |
| 製 剤 | 商品名 | 外 観(重量,直径,厚さ) | 性 状 | 識別コード [※] |
| | マグラックス錠 300mg |  (360mg 8.5mm 4.2mm) | 白色の素錠 | YO MG 5 |
| 標準品 マグラックス錠 250mg |  (300mg 8mm 4mm) | 白色の素錠 | YO MG 2 | |
| 製剤特性 *後発品 | 白色の素錠 | | | |
| 安定性 (無包装) *後発品 | 温度、湿度 (40℃ 75%RH 6ヶ月 [PTP包装]) | | 外観：変化なし 崩壊時間：33秒 含量：101.7% (規格内) | |
| | 温度、湿度 (40℃ 75%RH 6ヶ月 [ポリエチレン容器]) | | 外観：変化なし 崩壊時間：31秒 含量：101.3% (規格内) | |

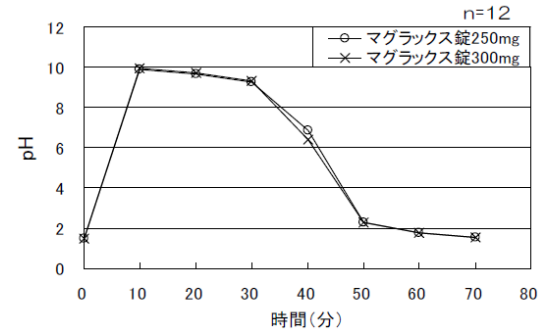
薬物動態
(生物学的
同等性)

制酸力試験



両製剤の制酸力は同等と判定された。

Fuchsの方法を参考にした制酸力試験



両製剤の制酸力は同等と判定された。

担当者、連絡先

吉田製薬株式会社 学術部 連絡先：03(3381)2004